

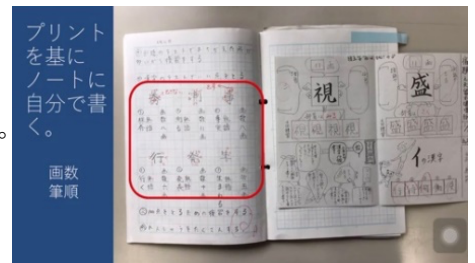
9月16日(金)のアイデア発表会では、熊本市立月出小学校の高宗智史先生が「私と()がつながる たまにはこんな学習もいいね TTP 計画」を、水俣市立水東小学校の松岡泰史先生が「物語の想像を深める！低学年における物語の解釈の交流」について発表をしてくださいました。

【月出小学校 高宗先生のご実践から学ぶ】

高宗先生は、ワクワクするような家庭学習のアイデアをたくさん発表してくださいました。

① 自学

「自主学習は続き学び！」とおっしゃる高宗先生のクラスの自学は、宿題や授業のプリントをもとに、さらに発展させて学習を進めていらっしゃいました。漢字の画数や筆順を確認したり、詩の分析をしたりと内容も様々なようです。また、自らの学習を分析し、さらに学びを繋げていく姿に驚かされました。



② 親子でチャレンジ

家族で協力したり、勝負したりする楽しい家庭学習のアイデアも教えてくださいました。間違った画数の漢字を探したり、熟語づくりのタイムを親子で競ったりと、家族ぐるみで学習を楽しむことができる内容になっていました。先生自作のプリントはどれもとても面白そうです。



③ 学級通信

学級通信を「親子で読む」工夫をされています。特に、テストの様子を先生が実況中継している文章はとても面白く、子どもたちも読むのを楽しみにしているそうです。

どれも明日から真似したくなるような楽しいご実践ばかりでした。高宗先生、ありがとうございました。

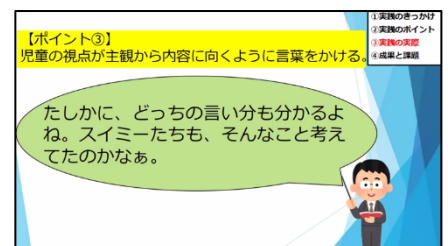
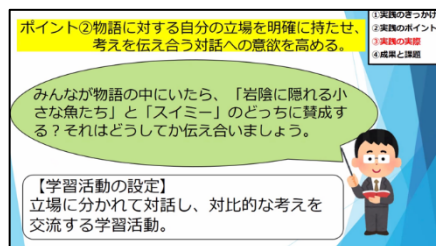
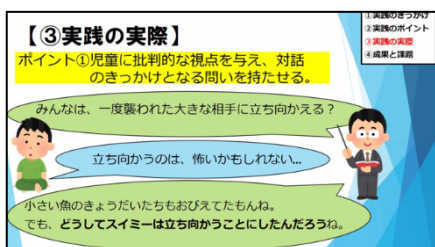
【水東小学校 松岡先生のご実践から学ぶ】

松岡先生は、「スイミー」の実践を例に、登場人物の行動の理由に迫る展開の工夫について発表してくださいました。物語の内容は理解している子どもたちですが、「もっと、スイミーが大きな魚に立ち向かった理由や思いについて、想像を深めたい！」という思いから実践されました。実践のポイントは以下の通りです。

- ① 児童に批判的な視点を与え、対話のきっかけとなる問いを持たせる。
- ② 物語に対する自分の立場を明確に持たせ、考えを伝え合う対話への意欲を高める。
- ③ 児童の視点が主観から内容に向くように言葉をかける。
- ④ 読み取りのポイントとなる児童の発言を全体の話題とするための教師の発言。
- ⑤ 作品中の表現に着目して登場人物の行動を深く考えられるよう発問をする。

①②は、対話の意欲を生むポイント！

③④⑤は、対話で物語の読みを深めるポイント！



「どうしてスイミーは立ち向かうことにしたんだろう？みんななら、できる？」、「どうしよう、困ったね。スイミーたちも悩んでいたのかな。」など、子どもたちを具体的な想像へと誘う先生の言葉かけが印象的なご実践でした。松岡先生、ありがとうございました。

★次回、第4回アイデア発表会は10月14日(金)予定。たくさんのご参加をお待ちしております♥